



特定非営利活動法人

日本防災士会高知

正会員54名 賛助個人会員10名 賛助法人会員1団体（令和3年1月）

特定非営利活動法人

日本防災士会高知

JAPAN BOUSAISAI SOCIETY KOCHI

〒780-0914 高知市宝町19-20

Tel/Fax088-875-9773

http://bousaishikochi.watson.jp/



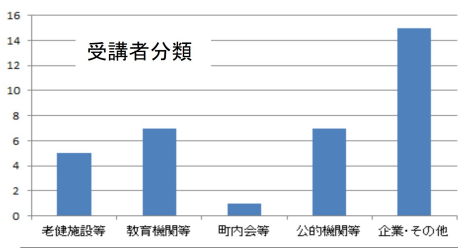
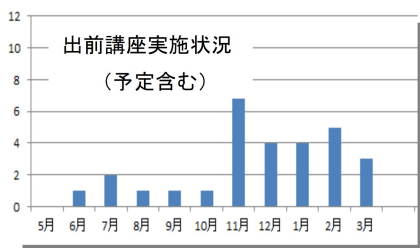
出前講座での教材を知ろう

（※HPより）
南海トラフ地震が今後30年以内に発生する確率は70～80%とされ、南海トラフ地震が発生すれば高知県も甚大な被害を受けることが想定されています。
被害を少なくするため、南海トラフ地震の被害や必要な備えについて学びましょう。

- 1) 座学は
・「南海トラフ地震に備えよき」冊子
・スキルアップ研修
・防災子屋
・南海トラフ地震対策資料
・国や県の施策や事業／気象庁資料
・見学／講師
- 2) 実技は
・「南海トラフ地震に備えよき」冊子
・スキルアップ研修
・防災子屋
・講師の特技
・見学／講師
・食事資料
・当会あるいは他団体のHP等



「市民トリアージ」について



研修の岡本です。今年度は4月より新型コロナウイルス感染拡大防止のため、防災寺子屋及びスキルアップ研修を開催することができなく会員の皆さんのフォローをするのができませんでした。こうした状況を踏まえて昨年10月に日本赤十字社高知県支部から講師を招いて「コロナの3つ顔を知ろう」の研修会を開催しました。事前のご案内に努めましたが、残念ながら参加者は5名でした。その後も、感染症対策を取りながら研修を開催しております。今後も毎月の研修会を開催する予定です。コロナ禍が落ち着きを取り戻しましたら、防災寺子屋の開催も検討してまいります。

会員の皆さんはどんなことを聞きたいですか？何について学びたいですか？いつなら参加できますか？どんな講師の方がいいのですか？皆さんの意見が聞きたいです。

昨年10月までは、新型コロナウイルス感染症の影響と思われるが県の「南海トラフ地震対策出前講座」への申し込み数が例年に比べて低調でした。しかし11月からは、自主防災組織、企業や団体においてはマスク着用、体調確認、三密回避、手指消毒の徹底、そして休憩と換気などの感染症対策を行うことを前提として出前講座への申込が増加しました。当防災士会高知においては、参加者間での意見交換形式での講座と防災調理講座の開催を保留、そして講師及び参加者の感染症防止対策の徹底を図って講座を実施しています。

内容は、南海トラフ地震の基礎知識はもちろんですが、最近、講座内容の希望として多いものは、発災後の電気、

スキルアップ研修を 利用しましょう

研修のお知らせがお手元に届いたら、何らかのお返事をいただくのとありがたいです。



出前講座

水道、ガスなどのインフラ被害への対策などとなっています。2月には福島県沖地震が発生したこと、3月には東北大地震から10年目を迎えるなど、南海トラフ地震の発生を身近に感じられているのではないのでしょうか。

本年は企業からBCP策定のための研修、あるいはBCPをもとにした初動訓練への申し込みが多くなっています。高知市内の福祉関係事業所では策定に向けて基礎的な研修の実施、同市内の自動車関係の企業では策定後約2年ですが、県内5事業所での机上訓練を実施、また四十市市内の食品製造企業では策定後初の机上訓練を実施しました。

机上訓練の実施にあたっては、役割分担などの班編成方式をとりますが、新型コロナウイルス感染症防



防災グッズづくり



避難訓練

定期総会開催予定

令和3年度定期総会を4月24日

（土）に高知会館（高知市本町）で開催予定です。多くの方の参加をお待ちします。後日、開催案内を差し上げます。



防災一口メモ

事務局の小笠原です。防災士の皆さん、地域の防災活動に取り組みまれていると思います。そこで、「非常持ち出し品」の点検の際の「目の付け所」について情報提供をさせていただきます。

- ① 予備のマスクや手指消毒剤などの感染症対策品は準備できているか
- ② ライトの乾電池は使用可能ですか
- ③ お薬手帳とお薬は準備できていますか
- ④ 食料（防災食品）は消費期限内ですか
- ⑤ スマートフォン、携帯電話、テレホンカード、小銭など通信に必要なものがありますか
- ⑥ 非常持ち出し袋は重すぎませんか、背負えますか



作成・編集…広報班

